

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立佃小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

保護者や地域と連携を取り、3つの最重要目標の達成に向けた学校運営を行ってきた。学力経年調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から概ね目標を達成したことがわかる。区や学校の予算を活用して学校で様々な取り組みを進めてきた。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

### 【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

#### 学校独自の目標

○令和7年度の学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。

達成状況と評価は概ね妥当である。

不登校児童への対応やいじめ対策への早期対応ができている、不登校児童の割合は変わっていないが、個々の児童の状況は改善が見られた。今後はさらに子どもの自己肯定感が高まっていくように学習の工夫や新たな取り組みが必要である。昨今のSNS等によるいじめが起きないか心配している。引き続き、子どもが安全に安心して生活できるようきめ細やかな指導をお願いしたい。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を43%以上にする。

○学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を68%以上にする。

#### 学校独自の目標

○学力経年調査の「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

達成状況と評価は概ね妥当である。

学力経年調査結果から学力の向上が見られた。さらに子どもの学力が向上し、意欲的に学習に取り組めるような工夫を期待したい。また、少人数を活かした特色ある取り組みをお願いしたい。検定試験等を活用した自主学習の取り組みに成果が見られた。

体力の向上については課題が見られる。外遊びの推進など様々な取り組み以外にも、体力向上に向けた体育科学習の工夫をお願いしたい。

### 【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の78%以上にする。

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を80%以上にする。

#### 学校独自の目標

○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を73%以上にする。

達成状況と評価は概ね妥当である。

全学年が一人一台端末を有効に活用できている。休み時間の使用にあたってのルールも定着している。情報モラルについての注意は必要である。

教職員の時間外勤務時間が減少していることは評価できる。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・小規模校のデメリットを解消するような新たな取り組みを期待する。
- ・引き続き、いじめの早期発見、早期対応や不登校児童へのていねいな対応を進めてもらいたい。